



# みなみ筑後の大豆づくりによみ

作成：令和5年12月  
南筑後農業協同組合  
南筑後普及指導センター

## 大豆づくりはまず土づくりと適期播種から

### 令和6年産

#### 喜ばれる「みなみ筑後」の大豆づくり重点事項

- (1) 収量・品質の向上
- ①収量向上対策の徹底(土づくり、連作の回避、排水性の改善)
  - ②基本技術の励行(適期播種、排水対策、中耕・培土、病害虫・雑草防除)
  - ③種子更新率100%
- (2) 安全・安心な大豆生産
- ①栽培履歴・GAP(農業生産工程管理)の全出荷者記帳・提出
  - ②農薬適正使用と飛散防止対策の徹底
  - ③発生予測に基づく適期防除による農薬使用回数の低減

月	旬	主な作業	作業内容
6	上	品種	「ちくしB5号」とする。 <b>品種特性表</b> 参照 <b>施肥基準</b> 参照
	中	土づくり (雑草防除)	<b>PHの矯正 6.0程度に矯正 e-green 4-4-20 40kg/10aを投入</b> 地力増強のため麦ワラや堆肥などの有機物や、ミネラルG 200kg/10a、土力の素45kg/10aを投入し、地力を維持する。 <b>除草剤基準</b> 参照
	下	種子消毒 耕起・播種	キヒゲンR-2フロアブルを種子1kg当り20ml塗抹またはキヒゲンを種子1kg当り10g粉衣する。(鳥の食害防止) または、クルーザーMAXXを種子1kg当り8ml塗抹する。 (鳥の食害防止・ネキリムシ対策・湿害軽減)  ロータリー耕で充分砕土を行い、同時に播種する。 ※梅雨明け後は、ほ場が乾燥し過ぎる前に、速やかに5cm以上の深さで播く。 ※鳥害回避の為に一斉播種を行う。部分浅耕播種や組作業で適期播種を行う。
7	中	雑草防除	<b>除草剤基準</b> 参照
	下	補植	欠株が多い場合は、密植部分から根に株元の土を多くつけた状態で補植する。 (追播は、成熟期が異なるため行わない)
8	上	中耕・培土	播種後15日頃(本葉3枚頃)
	中	中耕・培土 害虫防除 (ハスモンヨトウ)	播種後25~30日頃(本葉5枚頃) <b>病害虫防除基準</b> 参照 ※ <b>白変葉(ハスモンヨトウ孵化直後)の手取り除去</b> を行う。
9	上	病害虫防除 (ハスモンヨトウ) (カメムシ類) (紫斑病)	<b>病害虫防除基準</b> 参照 ※8月中下旬の防除と9月上中旬の防除は必ず行う。また、9月上中旬の防除時は、3種混合で行う。
	中	畦間かん水	子実肥大期に、ほ場が乾燥しすぎるようであれば、かん水を実施する。
10	上	青立株抜取り	刈り取り前に、青立ち株や雑草を抜取る。
	中	成熟期 刈取	成熟期は大部分が落葉し、莢を振ると音をたてる程度に乾燥した時期 刈取適期は、成熟期~成熟期後10日頃まで (汎用コンバインでの刈取は成熟期後7~14日頃)
11	上	脱粒	脱粒機は、損傷粒が発生しないように回転数に気をつける。
	下	乾燥 調整	葉/全部落ちて残っていない。 莢/指でさわってもベトつかない。 莢を振るとカラカラ音がする。 (水分20%以下)  茎/乾いて、指でさわってもベトつかない。 (水分50%以下) できれば40%以下 子実/腫むと歯型がつく。 (水分17%以下)



干ばつ時の畦間かん水

#### 品種特性表

品種名	開花期	成熟期	主茎長	耐倒伏性	10a当り実重
ちくしB5号	8月20日	11月2日	67cm	やや強	366kg

※7月10日播種

#### 播種時期・栽植密度規準 (2粒点播の場合)

播種時期	7月5日~19日(適期播)	7月20日以降(遅播)
播種量(kg/10a)	3.0~5.0	6.0~7.0
条間、畦幅(cm)	70、140	
株間 (cm)	25	15~20

#### 施肥基準

播種時期	7月上旬~中旬(適期播)	7月下旬以降(遅播)
土壌改良材	ミネラルG 200kg 土力の素 45kg	
土壌改良材入り肥料	e-green 4-4-20 40kg	

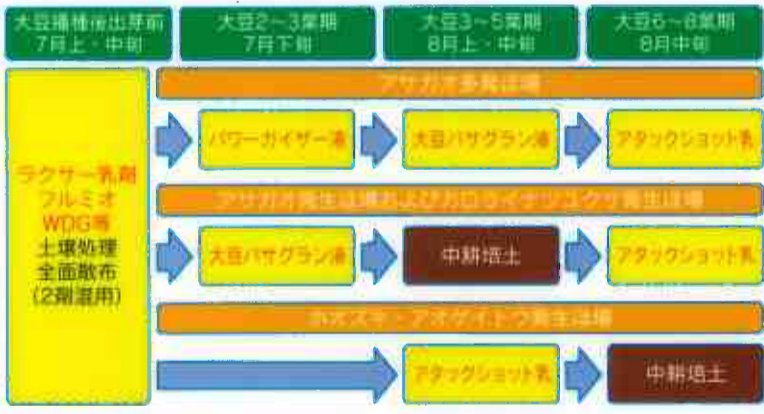
#### 除草剤基準

使用時期	除草剤名	10a当り使用量	10a当り希釈水量	使用上の留意点
播種前 (雑草が多い場合)	ラウンドアップマックスロード	200~500ml	25~100ℓ	飛散防止対策を徹底する
	ザクサ液剤	300~500ml	100ℓ	
播種後出芽前 (雑草発生前)	ラクサー粒剤	4~8kg	-	砕土を丁寧にを行い、覆土を十分に行う
	ラクサー乳剤	400~800ml	100ℓ	1年生雑草
雑草生育期(8月) イネ科雑草 3~10葉期	フルミオWDG	5~10g	100ℓ	ホアオケイトウ ラクサー乳剤と混用
	ポルトフロアブル	200~300ml	100ℓ	1年生イネ科雑草 (スズメノカタビラを除く) 収穫30日前まで
大豆2葉期~ 開花前	大豆ハサグラン液剤	100~150ml	100ℓ	アサガオ類 カロライナツユクサ 収穫45日前まで
	アタックショット乳剤	30~50ml	100ℓ	

※特にフルミオWDGを使用する場合は、散布器・タンク・ホース・ノズルは専用の洗浄剤で丁寧に洗浄する。

#### 難防除雑草の防除法

アサガオ類やホオズキ等の防除は、初期除草剤散布のみでは不十分であるため、中期除草剤、中耕培土を組み合わせ、実施する。



#### 病害虫防除基準

防除時期	対象病害虫	薬剤名	10a当り使用量	使用回数	備考
発生時	マメハンミョウ	スミチオン乳剤	1,000倍 水100ℓ	4回以内	
8月中~ 下旬	ハスモンヨトウ	カスケード乳剤	4,000倍 水100~150ℓ	2回以内	無人航空機 散布
		アクセルフロアブル	32倍 0.8ℓ		
9月 上中旬	ハスモンヨトウ	トルネードエースDF	2,000倍 水100~150ℓ	3回以内	無人航空機 散布
		スタークル液剤10	2,000倍 水100~150ℓ		
	カメムシ類	スタークル液剤10	16倍 0.8ℓ	2回以内	無人航空機 散布
		トップジンM水和剤	1,000倍 水150ℓ		
紫斑病	アミスター20フロアブル	700~1,500倍 水150ℓ	4回以内	無人航空機 散布	
	アミスター20フロアブル	16倍 0.8ℓ			

※高温年には、成熟期後半まで加害が続くので、2回目防除を必ず実施する!!



※ガードベイトA 3kg/10a または クルーザーMAXX



## 農薬適正使用と飛散防止対策を徹底しましょう!

南筑後農業協同組合 農畜産課 TEL(63)8814  
 南筑後普及指導センター TEL(62)4191  
 瀬高グリーンセンター TEL(62)4111  
 山田グリーンセンター TEL(67)1214  
 高川グリーンセンター TEL(22)3218  
 大牟田グリーンセンター TEL(56)8915